

## 「企業価値の持続的向上に向けて」進捗状況

2025年2月13日

株式会社INPEX（証券コード：1605）



当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

# 「企業価値の持続的向上に向けて」進捗状況

2023年8月に「企業価値の持続的向上に向けて」を公表し、各種取組みを実施  
 今後は各期末において進捗状況を開示する予定

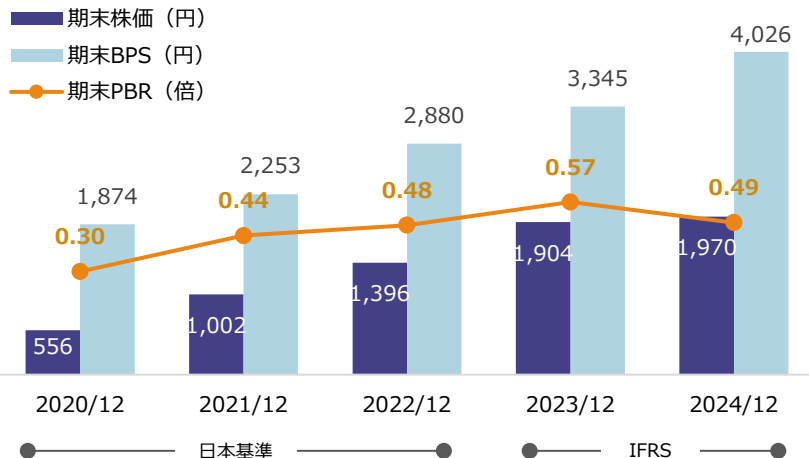
## ディスカウント要因（当社分析）

- 収益性の改善余地
- 座礁資産化リスク
- 株主還元への不透明感

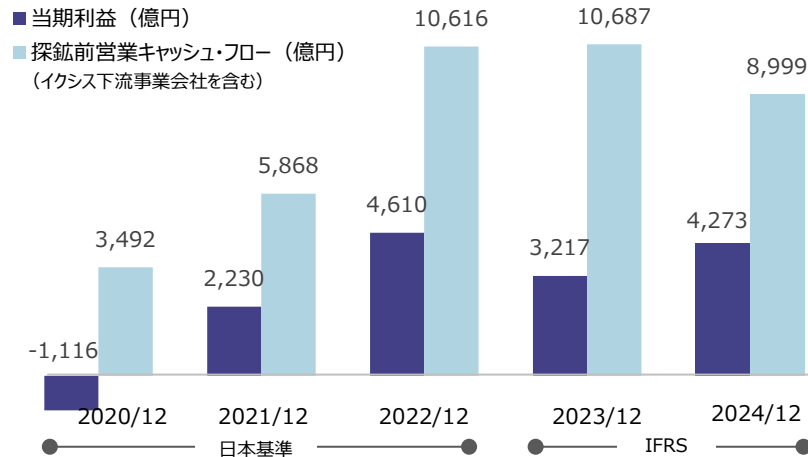
## 取組み

- 資本効率の向上
- 将来事業成長への信認獲得
- 株主還元・投資家対話の強化

## 株価及びPBR推移



## 業績推移

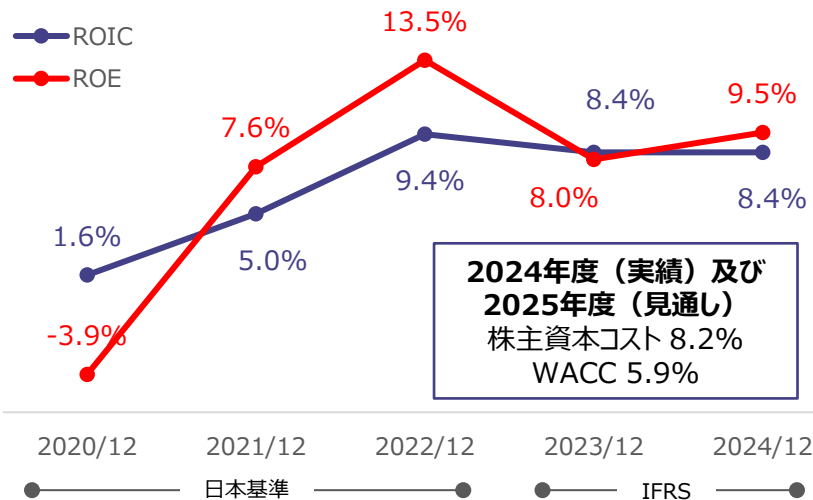


## 資本効率の向上

### ■ ROICの導入及びセグメント別ROICの開示

- 2024年12月期はWACCを上回るROICを達成。2025年12月期のROICは6.3%の見通し
- ROE及び株主資本コストを意識しつつ、今後もWACCを上回るROICの達成を目指す

#### ROE、ROICの推移



### ■ 着実な利益成長

- 2024年度の当期利益は前期比+32.8%となる4,273億円

### ■ コスト削減

- 2024年度の生産コストは\*5.2ドル。現在のインフレ状況下においても前年度（5.6ドル）以下の水準を実現

\*原油換算1バレル当たりの平均コスト（ロイヤリティ除く）

### ■ 資本政策

- 株主還元
  - ✓ 2024年度は過去最高の還元を実施
  - ✓ '25~'27中計期間においては、累進配当による安定的な還元に加え、機動的に自己株式取得を行う。また、業績の成長にあわせて株主還元を強化する
- レバレッジコントロール
  - ✓ 2024年12月末時点におけるネットD/Eレシオ（イクシス下流事業会社を含む）は0.33
  - ✓ '25~'27中計期間においても、0.3-0.5を目安にコントロールする

## 「資本効率の向上に向けた今後の取組」進捗状況 将来事業成長への信認獲得

- 石油・天然ガス分野の成長
- CCSによる石油・天然ガス分野の座礁資産化リスク低減

### イクシスLNG

(操業中)

- **安定操業を継続し**、年間930万トン生産を目指す（設備能力は構築済み）
- 周辺鉱区を取得し、**収益基盤の強化を推進**。**2030年代の第3トレイン拡張**に向け、評価作業を継続
- CCS向けGHGアセスメント鉱区の震探収録および評価井掘削結果を用いて貯留層評価作業を実施する。また、日本からのCO<sub>2</sub>受入も視野に、豪州北部準州政府による**ダーウィンCCUSハブ構想への貢献を目指す**

### アバディLNG

(FID前)

- 2030年初頭の生産開始に向け、**FEEDを実施予定**
- **10%台半ばのIRRの確保**に向け、コントラクター間の競争環境を維持しコスト抑制に努めつつ、インドネシア政府との協議も継続する
- CCS導入により、同ガス田の生産ガスに付随する**CO<sub>2</sub>の全量を削減予定**。将来的には**CCSハブ化**も検討

### その他

- タンガーLNG拡張開発計画のFIDを実施
- ノルウェーにおいてCCS事業への参入に合意

## ■ 再生可能エネルギーの安定収益化

- 引き続きPotentia Energy社が保有する既存ポートフォリオの運営に携わると共に、**収益性の高い新規アセットを選別・開発する**（DIF社等が保有する複数再エネアセット取得を予定）
- 発電に加え、調整電源を活用した**高付加価値な電力事業の追求**

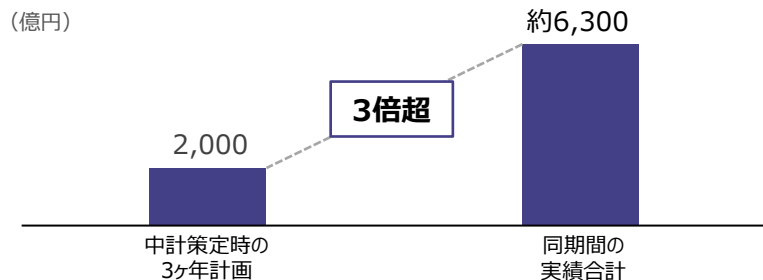
## ■ CCS・水素事業等の推進による将来の成長機会の追求

- 政府支援を獲得しつつ**2030年頃までの操業開始を目指す**
  - テキサス州ヒューストン港における低炭素アンモニア事業
  - 新潟県ブルー水素製造事業
  - 首都圏CCS事業、日本海側東北地方CCS事業 等

## 株主還元・投資家対話の強化

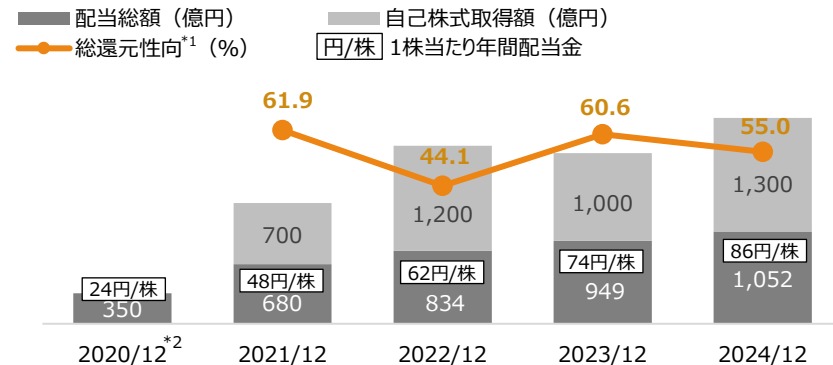
## ■ 株主還元の強化

## 2022-2024年度の株主還元



- 株主還元を'22-'24中計策定時の計画から大幅に強化
- 今後も、業績の成長にあわせて株主還元を強化し、大型の成長投資を行っている期間においても安定的な配当を維持する

## 株主還元の推移



\*1 総還元性向は、2023/12以降はIFRSベース

\*2 純損失のため総還元性向は該当なし

## ■ 機関投資家との対話の強化

- 2023年に引き続き、2024年もInvestor Dayを開催
- 経営陣による対話機会の拡充
- 国内外カンファレンスへの積極的な参加
- 国内施設見学会の実施
- 2025年前半には北米IR拠点を設置し、海外投資家との対話をより一層強化する

## ■ 個人投資家向けIRの強化

- 2024年はオンラインを含む個人向けIR説明会を計4回開催
- 株主さま向け国内施設見学会の実施

目の前に立ちはだかる世界規模の課題。  
私たちは地球の力でエネルギーを創る、  
チームの力を結集する、経験と新しい発想で知恵を出し合う。  
絶対に使命を投げ出したりしない。  
私たちはエネルギーを探し、届け続ける。  
今日も明日もこれからも、ずっと。

地球の力で未来へ挑む

**INPEX**

*Energy for a brighter future*